

科目名	日本語教育の基礎Ⅱ	
担当者	新内 康子 / SHIN' UCHI, Koko	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	「日本語教育の基礎Ⅰ」に引き続き、日本語を第一言語としない人たちに日本語を指導するために日本語教師として必要な基礎知識を日本語教育の各領域に分けて概説する。
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の文字・語彙・文法に関する指導項目が把握でき、それらの指導法も理解できるようになる。 2. カリキュラムをたてる際の留意点が理解できるようになる 3. 四技能（聴く・話す・読む・書く）の学習上の問題点が把握でき、それらの効果的な指導法も理解できるようになる。 4. 各視聴覚教材の特徴がわかり、それらの効果的な使用法も理解できるようになる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日本語の文字とその指導 (2) 日本語の語彙とその指導 (3) 同上 (4) 日本語の文法とその教育 (5) 同上 (6) 同上 (7) 同上 (8) ドリルの種類とその練習法 (9) カリキュラムのたて方 (10) 聴解における学習者の問題点とその指導法 (11) 話すことにおける学習者の問題点とその指導法 (12) 読解における学習者の問題点とその指導法 (13) 書くことにおける学習者の問題点とその指導法 (14) 視聴覚教材の特徴とその使用法 (15) 同上 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材」の該当章を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト・期末試験で高得点が取れるよう毎授業後十分に復習しておくこと。
使用教材・参考文献	<p>【教】石田敏子『改訂新版 日本語教授法』1995年 大修館書店</p> <p>【参】日本語教育学会編『日本語教育ハンドブック』1990年 大修館書店</p> <p>【参】日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』2005年 大修館書店</p>	
成績評価方法と基準	<p><方法>日本語教育用文法用語小テスト（30点）後期末試験（70点）</p> <p><基準>上記評価方法により合計が60点に達した者を合格とする。</p>	
備考	授業回数のおよそ1/3以上欠席した場合、不合格とする。	